

5年	科目	卒業研究	実験	通年	担当	機械工学科教員全員
機械工学科		Study for graduation	必修	8履修単位		
授業の概要						
機械工学科1学年から5学年までの教育プログラムにおける学習・教育のまとめとして、機械工学科各教員研究室において、主体的に自分の研究に取り組む。高専5年次までに修得し、なお修得しつつある機械工学科および本教育プログラムが目標とする広範な知識と技術を基礎として、研究を通して新しい問題への取り組み方、自立的で継続的な問題解決の方法と態度を取得するとともに、工学技術の社会的、産業的役割を理解し、討論の方法を身につけ、成果について発表し、卒業論文としてまとめる。						
本校学習・教育目標 (本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
	○	5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	E. 産業の現場における実務に通じ、与えられた制約の下で実務を遂行する能力並びに自立的及び継続的に自己能力の研鑽を進めることができる能力と姿勢					
実践指針 (専攻科のみ)						
授業目標						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指定された期限内に課題を提出できる。</li> <li>2. 研究計画を立案できる。さらにこの研究計画にもとづいた研究活動を行い、その活動の様子を記録することができる。</li> <li>3. 研究計画や研究成果を、報告書や卒業論文(英語のキーワードを含む)としてまとめ、ポスターならびに口頭でわかりやすく発表できる。</li> <li>4. 研究課題に関連した雑誌や書籍などを定期的・継続的に読み、研究に活かすことができる。</li> <li>5. 知的財産および工学倫理についての見識を有し、これらについて説明できるとともに実践・活用できる。</li> </ol>						
授業計画						
第1回	ガイダンス	概要, シラバス説明, 実施報告書, 中間報告書について				
第2回	ガイダンス・配属	各卒業研究のガイダンス, 研究室への配属決定				
第3回	知財	知財に関する講義と課題提出				※出席必須
第4回	調査・実験・解析など	各研究室(研究内容の調査・テーマの絞込み・年間計画の立案など)				
第5回						
第6回						
第7回						
第8回	中間報告書 I	中間報告書 I 提出				※提出期日は後日指定
第9回	調査・実験・解析など	各研究室				
第10回						
第11回						
第12回						
第13回	工学倫理	工学倫理に関する講義と課題提出				※出席必須
第14回	調査・実験・解析など	各研究室				
第15回						
第16回						
第17回						
第18回	中間報告書 II	中間報告書 II 提出				※提出期日は後日指定
第19回	調査・実験・解析など	各研究室				
第20回						
第21回						
第22回						
第23回	中間発表会	中間発表会(ポスター予定)				※実施日は後日指定
第24回	調査・実験・解析など	各研究室				
第25回						
第26回						
第27回						
第28回	卒業論文	卒業論文提出				※提出期日は後日指定
第29回		卒業研究発表会				※行事予定参照
第30回	卒業研究発表会					
評価方法と基準	指定された課題がすべて提出され、知財と工学倫理の講義に出席している場合に以下のとおり評価する。実施記録10%、中間報告書20%、中間発表会15%、卒業論文25%、卒業研究発表会20%、工学倫理5%、英文表現5%で評価する。60点以上を合格とする。					
教科書等						
備考	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。</li> <li>2. 授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。</li> </ol>					